

発行日 令和6年3月25日

発行元：駒岡地区社会福祉協議会 小塚邦夫

日頃より地区社協活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

今年度5月より新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になりました。これにより駒岡も少しづつ行事、イベントをかつてのあり方に戻してまいりました。

あたり前に集えることがうれしく感じられたこの1年間をご報告いたします。

★ 令和5年度駒岡地区社会福祉協議会の事業活動報告

◆ 駒岡地区社会福祉協議会定例総会について

令和5年5月25日に駒岡中町会館にて開催されました。

令和4年度事業報告、決算報告、令和5年度事業計画案、予算案が承認されました。

◆ 広報事業

- ・ 令和5年9月25日 「駒岡地区社協だより 25号」を発行
- ・ 令和6年3月25日 「駒岡地区社協だより 26号」を発行

◆ 協賛及び助成する団体の活動について

①一人暮らし高齢者対象昼食会「きらく会」

・ 6・7・11・12・1・2月（合計6回）に季節のお弁当をいただく昼食会を開催しました。

②敬老慰安祝賀会

・ 9月開催予定でしたが中止となりました。記念品を配布しました。

（駒岡地区社協だより 25号掲載）

③駒岡地区連合運動会

・ 10月開催予定でしたが駒岡小学校職員室増床工事中のため中止といたしました。

④高齢者対象 「水曜茶ロン」

・ 感染防止対策を行い実施しました。

⑤高齢者対象 「健やか会（ぴんぴん体操）」

・ 感染防止対策を行い実施しました。

⑥保健推進委員会主催の「健歩会」

・ 11月26日に開催いたしました。

⑦地域支援講座

・ 2月13日に駒岡地区センターで「ネット社会を生きる子ども達との向き合い方」を開催しました。

⑧子ども会主催「紙飛行機大会」

・ 2月17日に駒岡小学校体育館にて開催いたしました。

⑨育児サークル「いちごの家」

・ 感染予防対策を徹底し、工夫しながら、元気に活動をしました。

⑩鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）推進フォーラムに協力しました



駒岡地区センター、駒岡地域ケアプラザ合同防災訓練が実施されました。

2月24日（土）に駒岡地区センター、駒岡地域ケアプラザ合同防災訓練が実施されました。当施設での防災訓練は5年ぶりとのことでした。

駒岡消防署の望月署長と鶴見区消防団第7分団の方々の指導、協力のもと1階調理室からの出火という想定での訓練が始まりました。

施設スタッフが各自の担当動作確認をし、初期消火、通報、避難誘導を行いました。そして消防団による放水訓練も行われました。訓練後には毛布たんかの作り方、扱い方、消火器の扱い方を参加者ほぼ全員が体験しました。最後に望月署長より「近年各地で未曾有の自然災害や事故が起っています。災害への備えとして、このような定期的な訓練がとても重要となっている。」とお話がありました。



左より望月消防署長、ケアプラザ板山所長、センター七田館長



左：消防団による放水訓練
中央：板山所長への避難人数報告
右：施設スタッフによる毛布たんか体験



家庭用火災報知器の作動確認を!



★駒岡地区社協が協賛及び助成している団体の活動報告

◆ 第16弾地域支援講座「ネット社会をいきるこども達との向き合い方」開催

2月13日（火）にエンジェルズアイズ代表 遠藤美季先生をお招きし、駒岡地区センターにて開催されました。進化し続け、生活に欠かせないとても便利なものとなっているインターネット。子ども達がトラブル等に巻き込まれぬよう周囲の大人たちが注意喚起、目配りをする必要性などをお話ししていただきました。今となっては家族の団らんの中心にネット、SNSがあるといっても過言ではないでしょう。子育ての中で、ネット、SNSについてルールを設けることが必須となってきているようです。改めて自分や家族が適正なネット、SNSの使い方ができているかどうかを確認することも必要と感じました。

★編集後記★

2024年1月1日。サッカー日本代表の森保監督の勝利インタビュー中に鳴り響いた緊急地震速報。「またきた!」と心臓がバクバクとしました。テレビの画面はライブカメラ映像に切り替わり、揺れる能登半島を映し出しました。「お願い!そんなにゆれないで!!」。思いは届かず、またしても未曾有の地震が能登半島を襲いました。おそらく日本中の人々が地震への備えを何かしらしていたと思います。なのにまたしても想像を超える被害となりました。発災から3カ月が過ぎようとしています。発災直後から日頃の訓練をたくさん重ねている方々が被災地に入って活動してくださっています。本当に本当にありがとうございます。

駒岡にだって明日、大変なことが起こるかもしれません。警察や消防署や医療従事者や役所や消防団第七分団の方々ばかりにたよるのではなく自分でできることをよく考え（自助）、みんなと協力すること（共助）についてもよく考えていきたいと思う今日この頃です。

改めまして、能登半島地震で犠牲になられた方々に哀悼の意を表するとともに被災されたすべての皆様に心よりお見舞い申し上げます。

そして連日、身を挺して救援、救護、復興に携わられている方々に深く深く感謝いたします。

皆様が1日も早く安心して平穏な日々を取り戻されることを心よりお祈り申し上げます。

<駒岡地区社会福祉協議会事務局>